

宮城の「素敵」を紹介

宮城こどもホスピスプロジェクト

東北初のこどもホスピスを宮城に！



も保育施設でもありません。そのため公的な支援が受けづらいという悩みがあります。そんな中でも月2回、日本キリスト教団仙台川平教会内で「川平のおうち」を開設されていますが、やはり地域の受け皿となるために常設の施設が必要です。日本に2か所（横浜・大阪）ある常設こどもホスピスも企業や団体、個人の寄付により建設・運営されていますが、ここ宮城県でも事情は同じです。土地の確保、建物の建築費用、人件費等の運営費を賄うためには、この活動が多くの方に伝わり、「今このときを愛しむ」という理念に共感し、ご寄付やボランティアなど地域の皆さまからの支援が欠かせません。そこで名古屋さんが「宮城に常設のこどもホスピスを作りたい」という思いを今回誌面でご紹介させて頂きました。私の願いは支援の輪が広がること、募金箱設置などの形で協力頂けること、そしてこの施設が宮城県でも建築されて安定した運営が実現することです。何らかの形で協力くださる方は、下記QRコードの感想フォームからお申し出頂きますと、折り返しご連絡差し上げます。何卒宜しくお願い致します。



編集後記

今月からいよいよ毎月発行に移行したのとあわせて、実はタイトルをひっそりと変更しました。さて今更ながら、編集長の自己紹介をしていなかったなあと気づきました。詳しい話は改めてさせて頂くとして、実はDIYとマラソンが趣味の中年です。作るものはあくまでも趣味の範囲内のレベル、大会を走っても制限時間の方が気になる鈍足ランナーですが、そのうちオーナーさんを巻き込んで何かイベントが出来ればなと思っています。10/25(日)に仙台リレーマラソンがあり、最大20人で42kmを走るというチャレンジにエントリーする構想があります。追ってお知らせします。

創刊3回目となり、まだまだバタバタしながらの刊行ですが、嬉しい感想も何件か頂いています。お褒めのコメントは遠慮せず受け取り、改善提案は真剣に検討致します。引き続き次号以降も宜しくお願い致します。



編集長：加納



大東住宅 オーナーさま便り

今のお家をもっと好きになる社員手作りの情報誌

2026年7月号 〒983-0821 仙台市宮城野区岩切字三所南121-1
TEL 022-352-7477 reform@daitojyutaku.co.jp



高橋の徒然日記

～頑固親父からのありがたい言葉～

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。我が家の家族6人で住む二世帯住宅（もちろんソーラーサーキットの家です）も早いもので築17年になりました。建築当時を振り返ると、今でも忘れられない話があります。

同居する義父は、昔気質の頑固な棟梁でした。そんなプライドを持った義父に、自分が建てた家からの住み替えと、まだ一般的ではなかった「外断熱での新築」を納得してもらうのに大変苦労しました。しかし、工事が始まると現場を見る義父の目が徐々に変わっていきましました。

実際に暮らし始めると、義父の口から驚くような言葉が出るようになったのです。「ホントにこの家は、あったかくて涼しくていい家だなあ。断熱が違っただけでこんなに暮らしが違ふもんだべかと、たまげたなあ」。東日本大震災の時も家が傷まずに、停電時も寒さを感じずに過ごせ、高齢になっても健やかに暮らす中で、ソーラーサーキットの凄さを完全に認めてくれた瞬間でした。80歳を過ぎてからは、「自分がこんなに元気で長生きできるのは、この家のおかげかしんねえなあ」と褒め言葉を口にするようになり、義母を驚かせたものです。

そんな義父も90歳を過ぎて体調を崩し、我が家での「在宅介護」が始まりました。我が家の介護は、世間でイメージされている介護とは少し違います。なぜなら当時私たちは「将来、介護をする人も、受ける人も、出来るだけストレスを感じない家にする」というコンセプトでこの家を設計していたからです。空気がきれいで、温度差のない環境は、訪問診療の医師や看護師、ヘルパーさんたちからも「本当に気持ちがいい、最高の環境ですね」と驚かれます。何より義父が何度も何度も微笑みながら、「一夫さん、病院に行くよりもどこよりこの家が一番気持ちいいっちゃ。最初反対したけど、90過ぎてもこんないい家さに住ませてもらって、本当にありがとう」という言葉には、プロの職人そして父親にも認められた気がして、思わず涙がこぼれました。

家を建てるときに「今」の快適さやデザインばかりに目が向きがちですが、本当に大切なのは「人生の最後の瞬間まで、家族が笑顔で人間の尊厳を保ちながら心地よく過ごせる家」ではないでしょうか？大東住宅が追求し続けている「いつまでも強く、いつまでも快適に」という言葉の最終的な本質は、まさにこの瞬間にあります。オーナーの皆様が、30年後も50年後も「この家を選んで本当に良かった」と家族みんなで思い微笑み合える住まいであって欲しい—そんなことを我が家の日常のひとコマから改めて感じました。

代表取締役 高橋一夫



スタッフのひとこと

～お引渡し12年後の気密測定でびっくり！～

～経年後の気密性能（C値）～

先日、12年前にお引き渡しをしたオーナー様のお住まいで、10年以上の気密測定モニターとして測定を実施させていただきました。

気密測定とは、お家にどれだけ隙間があるかを調べる検査です。一般的には木材の収縮や変形、地震や結露による劣化、サッシなど部材の経年変化によって隙間が増え、築年数に応じて気密性能は少しずつ低下していくと言われています。その結果、住み心地の低下、光熱費の上昇に繋がります。弊社では、建物の劣化を抑える完全外断熱工法を採用し、今年から新築の方向けに「新築時C値0.5以下」「10年後C値1.0以下保証」を始めました。（1.0以下：仙台市の「せんだい健幸省エネ住宅補助金」気密基準＝弊社が考える最低限の気密性能）

今回はモニター測定でしたが、正直どれくらいの値が出るのか気が気でなく、オーナーさんの面前での測定なので少し緊張していました。どれだけ自信があっても、築12年の実際の住まいの数値を見るまでは、朝からそわそわ、不安が全くなかったと言えます。

～測定結果は～

測定後、結果が表示されるまでの数秒が数分に感じるほどドキドキでしたが、その結果は――

★★★C値0.3cm²/m²★★★

測定ミスか測定器異常を疑ったほどの結果で、12年が経過した住まいとは思えないほど優れた数値です。なかなかこの凄さが伝わらないのがもどかしいのですが（笑）。もちろん、オーナー様が大切に住み続けてくださったことが大きな要因です。それと同時に丁寧な施工と劣化の少なさが証明されて隠れて小さくガッツポーズ！私たちがこだわってきた完全外断熱工法と丁寧な施工が、長い年月を経ても建物を守り続けていたことを実感できた瞬間でもありました。

～感想～

測定後、オーナー様からは「12年経ってこの数値ってすごいだね！あまりよく分からずモニターに応募したけど、改めて家の価値を知ることができて良かった。」という嬉しいお言葉をいただきました。

新築時の性能はどのメーカーも雄弁に語ります。しかし、本当に大切なのは、その性能が何年先も維持されていることだと私たちは考えています。今回の結果は、私たちにとって大きな自信になると同時に、改めて責任の重さを感じる機会となりました。これからも皆さまの住まいが、何十年先も安心して暮らせる場所であり続けるよう、家造りに取り組んでまいります。

最後になりますが、ハラハラな測定（笑）に快くご協力いただいたオーナー様に心より感謝申し上げます。



営業・千葉



左：小川、右：千葉（営業）
ドキドキ気密測定、頑張ります！



ドキドキしながら結果をのぞき込むK様

お客様の声

～お手紙ありがとうございます！～

1月末にお引渡しいたしましたT様に、お引渡し後の「住み心地アンケート」を受け取りに伺いました。その際、お隣にあるご実家にお住まいのお母さまからお心のこもった丁寧なお手紙を頂戴しました。オーナー様のご家族様からお手紙をいただくことはそんなになにことですので大変驚きましたし、とってもとっても嬉しかったです！（お褒めの言葉も頂いちゃって♪）

設計スタート時からご同席いただき、ニコニコと成り行きを見守っていただいていたお母様は工事中にも何かと気を配っていただき、お礼を申し上げるのはこちらなのですが、こんなにも私たちの奮闘ぶりを応援いただいていたのだと、改めて感謝の気持ちがこみ上げました。



一方、T様ご夫妻はそれぞれのご趣味を自室で楽しんで過ごしたいというご希望に対する提案をどんどん受け入れてくださいましたし、お忙しい中にもメールのやりとりでご協力いただきながら進めることができました。本当にありがとうございました。

「暮らしてみると一番のお気に入り空間となった」とおっしゃるリビングで自然とゆったり過ごされているとのこと♪「人の縁が紡いだ空間だから」という言葉がジーンと心にしみました！！

T様、ご家族様、家づくりの素敵な物語をありがとうございました♡♡♡



設計・坂本

住まい方コラム：夏の暮らしのコツ

「外出するたびにエアコンを消した方が節電になりますか？」そんなご質問をいただくことがあります。

外断熱の家は、建物全体を断熱材で外からすっぽり包み込んでおり気密性能も高いため、一度冷やした室内の空気が外へ逃げにくいのが特長です。そのため、エアコンは26～28℃程度で室温を一定に保つのがおすすめです。少ないエネルギーで快適な温度を保つことができます。一方、こまめに運転を止めると、室内や壁の中、屋根裏・床下の温度が上昇し、再び冷やすためにエアコンに大きな負荷がかかります。

また外で強い日差しを遮ること以外にも、ソーラーサーキットのダンパー開閉によって壁の中へうまく空気を流す工夫が必要です。



ダウンロード
アプリはこちら

ダンパー操作のタイミング等についてはソーラーサーキットの専用のアプリに季節ごと目安が表示されます。暮らし方のコラム等も掲載していますので、ぜひこの機会にダウンロードしてご活用ください。

営業・千葉

イベント情報

7/18(土)に本社にて「お手入れDIYイベント」開催予定です。今回は「コーキング体験」です。実際にやってみましょう。

同時に「木工教室」「即席アイスクリーム作り」も開催致します。詳細はQRコードからホームページをご覧ください。

